

中学校避難訓練 「災害派遣体験談」を防災講話



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）新発田地域事務所（所長 2陸尉 桜井正智）は、令和元年11月11日（月）胎内市立乙（きのと）中学校において防災講話を実施しました。

この講話は、乙中学校が実施する避難訓練の一環として同校長からの依頼により行われたもので、避難訓練を実施した後、大食堂に集合した全校生徒に対して、所長自らの東日本大震災における福島県での災害派遣活動に従事した経験を基に「防災講話」を行い、被害の様相、具体的な活動内容やそこで得た教訓等を生徒にわかりやすく丁寧に伝えました。

また講話の中で、普段から身の周りの環境や、いつ起きてもおかしくない災害に対する準備の大切さ・重要性、そして災害により、離れ離れになるかもしれない家族の大切さについても強調し話しをしました。



生徒達は、普段接することのない自衛官の話に、実際の災害の状況を想像しながら、興味深くそして真剣に聴講していました。

生徒達からは「自衛隊は私たちのために近場だけでなく全国各地で活動してくれていることが分かりました」「災害派遣でどのような仕事を行っているか理解することができました」などの感想が述べられました。

新潟地本は、今後も学校の防災教育等に自衛隊を積極的に活用し、広く学生に自衛隊という職業への理解を深めていくよう業務に邁進していきます。